

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年11月29日)

- 1 第2回保健所業務等に関する県・市連携協議会幹事会の開催について  
【地域振興課】・・・ 別 冊
- 2 県内の日本語学校の開校について  
【教育・学術振興課】・・・ 1 ページ
- 3 平成30年度鳥取県文化功労賞受賞者の決定及び表彰式の開催について  
【文化政策課】・・・ 2 ページ
- 4 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について  
【文化政策課】・・・ 3 ページ
- 5 第18回全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について  
【スポーツ課】・・・ 4 ページ
- 6 クロアチア拠点セーリングチームとの境港合宿に係る包括協定締結等について  
【スポーツ課】・・・ 6 ページ
- 7 青少年ジャマイカ派遣及び「五輪ホストタウン団」の現地訪問結果について  
【スポーツ課】・・・ 7 ページ
- 8 卓球国際大会「2018ITTFワールドカデットチャレンジ鳥取大会」開催結果について  
【スポーツ課】・・・ 10 ページ
- 9 「IFSC-ACCクライミングアジア選手権 倉吉2018」の開催結果について  
【スポーツ課】・・・ 12 ページ
- 10 2巡目国体等に係る島根・鳥取両県協議及び第88回（2033年）国民体育大会開催要望書の提出について  
【スポーツ課】・・・ 14 ページ

地 域 振 興 部



## 県内の日本語学校の開校について

平成30年11月29日  
教育・学術振興課

学校法人矢谷学園が「鳥取城北日本語学校」、学校法人米子永島学園が「米子日本語学校」について、法務省入国管理局の日本語教育機関への適合審査を受けていたところ、10月26日に適合の内示の連絡がありました。

現在、両校とも学生募集等の開校準備を進め、平成31年4月開校を予定しています。

### 1 今回内示のあった日本語学校の概要

#### (1) 鳥取城北日本語学校

大卒の高度外国人人材を受入れ、卒業後は県内企業等への就職を目指す。(国内で初めて)

①所在地 鳥取市古海37-4 (旧 専門学校鳥取情報経理学院：H26.3閉校)

②校長 石浦外喜義氏 (矢谷学園理事長、鳥取城北高等学校校長)

③収容定員 100名

④修業年限 1年

⑤主な対象 ベトナム人 : 大卒後に日本での就職先が内定している学生を選抜

⑥学費等 総計82万円 : 半分は就職内定企業が負担

#### (2) 米子日本語学校

大学進学を目指す学生を受入れ、同法人が設置する米子松蔭高校との連携等が特色。

①所在地 米子市二本木316番地1 (米子松蔭高等学校内)

②校長 上田俊英氏 (米子永島学園常務理事、前米子松蔭高等学校校長)

③収容定員 78名

④修業年限 2年

⑤主な対象 ベトナム人 : 日本の大学等への進学を目指す学生を受入れ

⑥学費等 1年目69万円、2年目61万円

### 2 設立認可手続の経緯

手続	認可庁	鳥取城北日本語学校	米子日本語学校
学校設置認可 (校種：各種学校)	鳥取県	H29.10.10 認可申請 H29.10.18 私学審議会へ諮問 H29.10.31 私学審議会の答申 H29.11.16 認可	H30.3.6 認可申請 H30.3.19 私学審議会へ諮問 H30.3.27 私学審議会の答申 H30.3.30 認可
日本語教育機関に係る審査	法務省 (入国管理局)	H30.4 法務省へ申請 H30.7.26 文科省ヒアリング H30.10.26 法務省より内示※	H30.4 法務省へ申請 H30.7.30 文科省ヒアリング H30.10.26 法務省より内示※

※法務省の正式な告示は平成31年2月になる見込み

### 3 県内の他の日本語学校の状況

学校名	設置者	所在地	認可等	開校日	国籍	修業年限	定員
①米子国際ビジネスカレッジ	(株)アイゼン	米子市	H27.6.26 認可 (各種学校)	H29.4.1	ベトナム	2年、 1年6月	95名
②智林(ちりん)日本語学校	合同会社	智頭町	県への各種学校申請なし	H29.10	ウズベキスタン	2年	60名

# 平成30年度鳥取県文化功労賞受賞者の決定及び表彰式の開催について

平成30年11月29日  
文化政策課

県民文化の向上発展に資することを目的として、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった者の功労をたたえる鳥取県文化功労賞について、平成30年度の受賞者を決定し、表彰式を開催しました。

## 1 受賞者（年齢順、敬称略。年齢は表彰式時点のもの。）

氏名等	受賞理由
くにた としお 國田 俊雄 (82歳) 郷土史・米子市	島根大学で歴史学を学び、本県で教員となってからも、地域史に関わる研究を続け、特に専門の近世史については、米子城及び城下町の成立と展開に関する研究に取り組み、「米子城築城と米子の町」、「米子城築城と米子の町プラン」等、数多くの論文を執筆している。加えて、文献資料のみならず考古学的成果を取り込んだ柔軟な発想に基づく研究により、「伯耆国会見郡の古代中世社会」など、古代から中世にかけて多数の研究成果をあげている。 米子市史編さん協議会近世・近代部会専門委員を務め、米子市史の編纂にも深く関わった。また、自身の研究発表だけでなく地域史等に興味を持つ多くの人々が成果を発表する場として、伯耆文化研究会を結成(当初から副会長・会長を歴任)するとともに、地域に残る歴史民俗を始め多様な研究を推進している。
いしたに こうじ 石谷 孝二 (66歳) 彫刻・鳥取市	主に木彫を手がけているが、ブロンズを使った彫刻や、テラコッタ(粘土を素焼きにした作品)なども制作する。一つの作品が複数の異なったものを表しているように見える「見立て」という手法を追求し、柔らかなぬくもりのある作品を制作し続けている。 大学在学中から「国展」に出品を続け、昭和54年に「国展国画賞」、平成12年には「第1回桜の森彫刻コンクール優秀賞」を受賞。鳥取県立図書館や韓国春川大学・彫刻公園などに作品が收藏される。 昭和61年から鳥取大学に赴任し、芸術文化センター長も兼務するなど後進の育成に務めた。 県展の運営委員・審査員を務め、県展賞の副賞の原型制作や県文化功労賞の副賞のデザイン及び原型制作を手がけている。

## 2 表彰式

(1) 日時 11月14日(水) 午前10時から午前10時30分まで

(2) 場所 知事公邸 第1応接室

(3) 出席者

知事

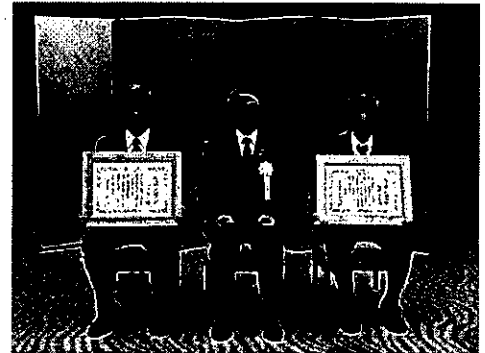
受賞者

選考委員

上田京子氏(有識者:文芸)、柴山抱海氏(書道家)

白石由美子氏(声楽家)、福島多暉夫氏(写真家)

前田昭博氏(陶芸家)



## 3 その他

受賞者の功績を紹介する記念事業として、平成31年1月に巡回展を開催する。

(1) 日程

①西部会場 米子市美術館

平成31年1月5日(土)～10日(木) ※9日(水)休館

②中部会場 倉吉博物館

平成31年1月19日(土)～23日(水) ※21日(月)休館

③東部会場 鳥取県立博物館

平成31年1月26日(土)～30日(水) ※期間中休館日なし

(2) 展示内容(予定)

- ・ 國田氏の論文及びその内容に沿った米子城を中心とする歴史資料
- ・ 石谷氏の彫刻作品

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】	地域振興部					
主務課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日
文化政策課	鳥取県立米子コンベンションセンター タワー舞台照明設備改修業務	米子市 末広町	東芝エルティールエンジニアリング・佐藤総合 計画グループ 代表企業 東芝エルティールエンジニアリング株式会社 取締役社長 丸山 辰雄	470,491,200円  (予定価格)  492,022,080円	平成30年11月9日 ～ 平成32年2月29日	平成30年11月8日
						摘 要 総合評価 一般競争入札 (1社)

# 第18回全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について

平成30年11月29日

ス ポ ー ツ 課

10月13日(土)から15日(月)までの間、福井県で開催された第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」に参加した本県選手団の成績について報告します。

## 1 概要

### (1) 参加者数

- ・本部役員 6名
- ・役員 19名(正式競技15名、オープン競技4名)
- ・選手 25名(正式競技17名、オープン競技8名)

### (2) 獲得メダル数

- ・金メダル 6個(種目:陸上競技3個、卓球1個、フライングディスク2個)
- ・銀メダル 6個(種目:陸上競技3個、水泳2個、フライングディスク1個)
- ・銅メダル 8個(種目:陸上競技4個、水泳2個、卓球1個、ボウリング1個)

## 2 総括

大会新記録や大会タイ記録は残せなかったものの、金メダル6個、銀メダル6個、銅メダル8個の合計20個のメダルを獲得した結果、メダル獲得率は64%となり、前大会の67%よりは下がったものの、鳥取県スポーツ推進計画で掲げている目標数値である60%を超える結果を残した。

- ・陸上競技では県強化指定選手の高橋峻也(たかはし しゅんや)選手が、異なるタイプの種目(ジャベリックスロー:銀、50m:金)でメダルを獲得した。
  - ・井上流生(いのうえ るい)選手、水津保(すいづ たもつ)選手は、それぞれのクラスのピーンバッグ投げで2位に大差をつけ優勝した。
  - ・昨年の大会では陸上競技に出場し、立幅跳1位、4×100mリレー2位という好成績を収めた石田瑠輝(いしだ りゅうき)選手は、本人の希望により今年は卓球に出場し、全試合勝利により優勝し高い身体能力を発揮した。
  - ・フライングディスクに出場した森住和彦(もりずみ かずひこ)選手、近藤旬一(こんどう しゅんいち)選手は、アキュラシーディスリートファイブにおいて、安定した強さを見せ優勝。
- ※アキュラシーディスリートファイブ(5m先の円形ゴールを狙って10投し、入った数を競うもの)

## 3 メダル内訳等(正式競技)

( )は昨年度愛媛大会の数

出場競技	出場者数	出場種目数 (延べ)	メダル数				
			金	銀	銅	合計	
個人競技	陸上競技	9 (13)	18 (22)	3 (7)	3 (7)	4 (3)	10 (17)
	水泳	3 (3)	6 (6)	0 (5)	2 (0)	2 (0)	4 (5)
	アーチェリー	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)
	卓球	2 (3)	2 (3)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	2 (3)
	フライングディスク	2 (4)	4 (8)	2 (1)	1 (2)	0 (0)	3 (3)
	ボウリング	1 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
バレーボール(聴覚男)	0 (10)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	17 (36)	31 (43)	6 (13)	6 (10)	8 (6)	20 (29)	

※個人競技への参加は1人2種目以内。(リレーを除く)で、陸上の出場種目数には4×100mリレーを含む。

# 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」メダル獲得者一覧

会期:平成30年10月13日(土)~15日(月)

区分	競技名	種目	氏名	所属
金メダル	陸上競技	ビーンバッグ投	井上 流生	株式会社バジャスポーツ
			水津 保	社会福祉法人真和会 障がい者福祉サービス事業所 桜苑
		50m	高橋 峻也	日本福祉大学
	卓球	一般卓球	石田 瑠輝	イオンモール株式会社 中四国カンパニー山陰事業部 イオン鳥取北店
	フライングディスク	アキュラシー・ディスリート5	森住 和彦	JR西日本レンタカー&リース株式会社
			近藤 旬一	鳥取県立倉吉養護学校
銀メダル	陸上競技	ジャベリックスロー	高橋 峻也	日本福祉大学
		100m	谷 悠聡	株式会社JR西日本米子メンテック
		立幅跳	植田 帆乃夏	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
	水泳	25m自由形	杉原 美由紀	鳥取県障がい者水泳協会
		50m自由形		
	フライングディスク	ディスタンス・スタンディング	森住 和彦	JR西日本レンタカー&リース株式会社
銅メダル	陸上競技	スラローム	水津 保	社会福祉法人真和会 障がい者福祉サービス事業所 桜苑
		ビーンバッグ投	内藤 佳良子	医療法人養和会
		200m	程口 真樹	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
		50m	田中 香織	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
	水泳	25m自由形	新野 真美	医療法人・社会福祉法人 真誠会ゆうとぴあ
		50m自由形		
	卓球	一般卓球	濱津 志織	日立フェライト電子株式会社
	ボウリング	壮年男子	植田 良介	鳥取県立倉吉農業高等学校

# クロアチア拠点セーリングチームとの境港合宿に係る包括協定締結等について

平成30年11月29日  
ス ポ ー ツ 課

10月17日(水)に、クロアチアに拠点を置くセーリングチーム・JKモルナルインターナショナルレーザークルーズチームと鳥取県セーリング連盟、境港市、及び本県との間で、境港市での合宿実施に係る包括協定を締結しました。

当協定に基づき、同チームは翌10月18日(木)から境港市で初の合宿を実施し、合宿期間中には市民歓迎会や中学校訪問等を通じて市民との交流も深めました。

## 1 境港合宿包括協定書締結式概要

### (1) 日 時

10月17日(水) 午後7時30分～8時30分

### (2) 場 所

夢みなとタワー1階ホールA (境港市竹内団地 255-3)

### (3) 出席者

JKモルナルインターナショナルセーリング  
レーザークルーズチーム コーチ ヨソ・ヤケリッチ 氏  
鳥取県セーリング連盟会長 安田 優子 氏  
鳥取県知事 平井 伸治  
境港市長 中村 勝治 氏  
駐日クロアチア共和国大使 ドラジェン・フラスティッチ 氏  
内閣官房東京オリ・パラ推進本部事務局 参事官 荒井 陽一 氏



### (4) チーム概要

・クロアチアのスピリットを拠点に活動するセーリングチーム。ロンドン五輪銀メダリストのバブロス・コンティダス選手(キプロス籍)やリオ五輪銀メダリストのトンチ・スティパノビッチ選手をはじめ、本県の瀬川和正選手等、複数国の選手7名が在籍する。

### (5) 主な協定概要

・鳥取県セーリング連盟、境港市、鳥取県の3者は、合宿に必要な施設や設備、情報等を提供する。  
・JKモルナルレーザークルーズチームは、県内選手の指導や県民との交流に協力する。

### (6) 主なコメント

- (ヨソコーチ) 温かい歓迎に感謝している。良好なコンディションの美保湾で練習し、東京五輪で最低でもメダルを3つ獲得したい。
- (安田会長) JKモルナルの皆さんが安全に気持ちよく合宿できるよう全力を挙げて支援する。
- (中村市長) 有意義で思い出深い滞在となるよう、市民一丸となりサポートする。
- (平井知事) 私たちは同じチームであり、同じ船に乗っている。東京五輪でメダルを取りましょう。

## 2 第1回境港合宿概要

(1) 期 間 10月18日(木) から31日(水) まで

### (2) 内 容

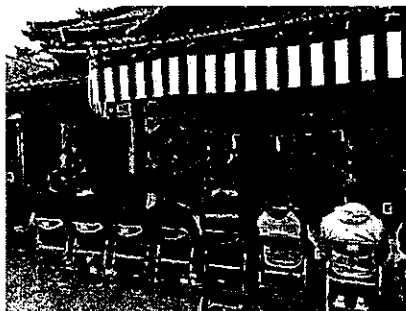
- ・境港公共マリーナを拠点とした美保湾での練習
- ・境港市民(中浜地区)による歓迎会参加(10月20日(土))  
必勝祈願、パーベキュー、伝統芸能披露、お茶体験会等の実施
- ・境港市立第二中学校訪問(10月22日(月))  
瀬川選手による講演、トンチ選手によるリオ五輪銀メダル披露、給食体験等の実施

### (3) ヨソコーチの総評

・コーチとして25年程世界中を回っているが、ここほどセーリングに最適な場所はない。  
風も波もすばらしい。人々がとてもすばらしく、ホスピタリティも完璧だ。

(参考) レーザー級全日本選手権(11月1日～4日) 出場結果(オープン参加)

1位: フィリップ選手(クロアチア籍) 2位: セルゲイ選手(ロシア籍) の他4位まで同チームの選手が入賞した。





# 青少年ジャマイカ派遣及び「五輪ホストタウン団」の現地訪問結果について

平成30年11月29日  
交流推進課  
高等学校課  
スポーツ課

ジャマイカ・ウェストモアランド県との交流の一環として本県青少年交流団を派遣するとともに、濱崎晋一県議を団長とする協議団「五輪ホストタウン団」が現地を訪問し、青少年交流を視察したほか、同県モーア知事やジャマイカ・オリンピック協会関係者との面談等を行った概要を以下のとおり報告します。

## 1. 派遣者

(青少年団) 鳥取湖陵高校5名(家庭クラブ部員)、米子高校(ダンス部員)5名、ほか引率  
(ホストタウン団) 濱崎晋一ジャマイカ・鳥取友好議員連盟会長・鳥取県陸上競技協会会長、  
森田靖彦教育委員会次長、小西慎太郎スポーツ課長、遠藤俊樹交流推進課長

## 2. 交流・協議内容

### (1) 青少年交流事業(派遣期間:10月11日(木)~10月22日(月))

#### (概要)

- ・ウェストモアランド県内の高校を訪問し、同校生徒との料理、ダンス、グラウンドゴルフを通じた交流を行ったほか、ホームステイを行った。
- ・料理交流については日本風の唐揚げにジャマイカの伝統料理「ジャークチキン」の調味料で下味をつけ、両国の味覚のコラボレーションを意味する「Jam-Jap Chicken」と銘打ったメニューを考案し、ジャマイカ人生徒と共同で調理した。また、送別会場となるホテルのシェフ指導のもと、訪問先生徒を招いてオリジナルメニューを共同で調理し、送別会の席でウェストモアランド県行政関係者等に供した。
- ・ダンス交流については、訪問先の高校及び、ジャマイカの国民の休日「ヒーローズ・デイ」記念式典における特設ステージのほか、送別会、日本大使主催レセプションでダンスを披露し、鳥取県とウェストモアランド県の友好をアピールした。
- ・日本大使公邸で開催された鳥取県訪問団歓迎レセプション(10月19日(金))には、サミュエルダ会長はじめ、ジャマイカ五輪協会関係者やウェストモアランド県関係者の出席があり、山崎大使から「鳥取県はジャマイカにとって日本へのゲートウェイであり、高校生は日本の文化大使である」との歓迎の言葉が述べられた。鳥取県訪問団を代表した濱崎議連会長からは「今後ジャマイカとの交流をスポーツ、文化など幅広い分野で推進していきたい」旨の挨拶があった。

#### (教育的成果)

- ・異文化に直接触れる体験が高校生にもたらす教育力が存分に発揮された。風土、人種、言語、生活習慣や交通インフラ整備状況など、日本とは大きく異なる現実を目の当たりにしたことが、ジャマイカでの一つ一つの体験を客観視することにつながった。そのことで、生徒がジャマイカの人々との共感や共鳴に感動し、当たり前とと思っていたことが日本の特徴であり、美徳であることを実感できた。
- ・ジャマイカの人々のオープンなマインドと優しさに触れ、生徒に利他の心が醸成された。料理やダンスなど、生徒の得意分野で交流を重ねることができ「自分たちの持ち味や特徴はどのようにして世の役に立てるのか」といった観点から自分の今後のあり方を考えていこうという気概に溢れる生徒が増えた。

#### 【生徒の主なコメント】

「やりたいことは勇気を振り絞って挑戦してみることで、それまで見たことのない景色が見えると気づいた」

「学んだ多くのことをこれからに生かし、周りの人に影響を与えられる人間になりたい」

「英語を頑張って勉強し、またジャマイカに来たい。そして、触れ合ったジャマイカの生徒達ともっと仲良くなりたい」

### (2) ジャマイカ・オリンピック協会(JOA)との協議

日時 10月20日(土)11時~12時、21日(日)14時~15時(現地時間)

場所 キングストン市内

相手方 サミュエルダ会長、ゲイル第2副会長、スコット理事ほか

(概要)

- ・11月に東京で会議がありサミュエルダ会長等が出席する。また、来年5月、横浜で世界リレーが開催され、サミュエルダ会長、ゲイル副会長、ブレイク陸連会長が行く。この2つの機会に鳥取に行き、2020へ向けての取組(事前キャンプのスケジュールや東京でのジャマイカ館の設置等)について話し合いたい。
- ・鳥取とのパートナーシップは2020年の後も続けていきたい。ゲイル副会長が基盤を作ってくれた。文化面でも交流を深めていきたい。

### (3) ウェストモアランド県モーア知事夫妻との面談

日時 10月17日(水) 19時～21時(現地時間)

場所 ウェストモアランド県ネグリル

(概要)

[2020年東京オリンピック]

- ・濱崎会長から、6月に布勢で行われたスプリント選手権でジャマイカから招聘したウ県出身のマイリー選手が女子100mで優勝したことを報告した。
- ・モーア知事から、東京オリンピックの際には鳥取県を訪問したいとの意向が示された。

[友好交流の促進について]

- ・モーア知事から、青少年交流として、来年度はウェストモアランド県から5名程度を鳥取県に派遣したいとの意向が示された。これまでウ県から青少年の派遣実績はなく、実現すれば交流進展に大きく寄与するものと期待できる。

### 3. 帰国報告会の開催

今回の青少年交流の成果を県民に広く知ってもらうことを目的として次のとおり報告会を開催する。

- ・日時 平成30年12月16日(日)
- ・会場 エキパル倉吉多目的ホール(倉吉市上井195 JR倉吉駅構内)
- ・内容 県交流事業姉妹提携先への派遣生徒(ジャマイカ・ウェストモアランド県、米国・バーモント州)による、帰国報告プレゼン、パネルディスカッションなど

### 4. 写真



▲料理交流(リトルロンドン高)



▲ダンス交流(リトルロンドン高)



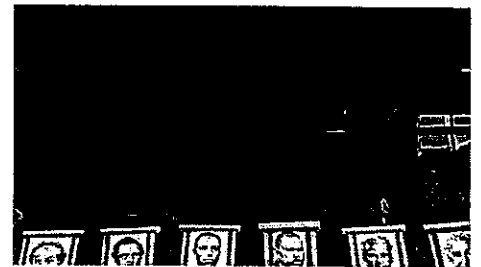
▲グラウンドゴルフ(リトルロンドン高)



▲ロイヤルトンホテル送別会



▲地元児童との交流会



▲ヒーローズ・デイのダンス披露

## (参考) 行程

月 日	青少年団	ホストタウン団
10月12日 (金)	ジャマイカ到着、ウェストモアランド県主催歓迎会	
13日 (土)	地元児童、住民との交流行事 (地元慈善団体「NEET」主催)	
14日 (日)	ウェストモアランド県内視察	
15日 (月)	ヒーローズ・デイ (国民の祝日) 祭典でのダンス披露	
16日 (火)	訪問校生徒 (パディ) とのレクリエーション	
17日 (水)	リトルロンドン高校訪問。料理、ダンスで交流	ジャマイカ着 モア知事と意見交換会
18日 (木)	グリーンヒル高校訪問。料理交流 ロイヤルトンホテルでの料理交流、送別会	青少年団に同じ
19日 (金)	在ジャマイカ日本大使主催鳥取県訪問団歓迎レセプション	青少年団に同じ
20日 (土)	ジャマイカ出発	ジャマイカ五輪協会との 交流協議
21日 (日)		ジャマイカ五輪協会主催昼 食会
	(22日帰国)	(24日帰国)

# 卓球国際大会「2018ITTF ワールドカデットチャレンジ鳥取大会」開催結果について

平成30年11月29日  
スポーツ課

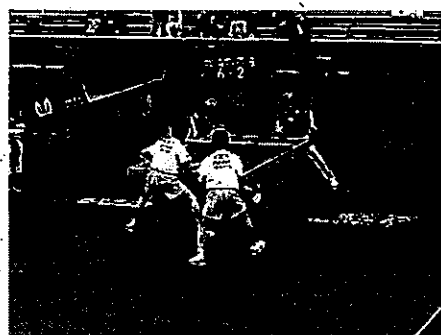
世界主要地域から選抜された15歳以下の選手が出場する卓球国際大会「2018ITTF ワールドカデットチャレンジ鳥取大会」が開催され、国内外から延べ3千人以上の観客をお迎えする中、近い将来、卓球界を牽引するアスリートたちが世界トップレベルの技で熱戦を繰り広げました。

また、トレーニングキャンプには、鳥取県選抜チーム（男女計8名）が特別参加し世界レベルの選手たちと練習を行ったほか、八頭中学校2年生の米村翔太選手が、特別枠で本大会混合ダブルスに出場するなど、ジュニア世代の今後の競技力向上に向けた成長が期待できる機会となりました。

- 1 会期 平成30年10月23日（火）から31日（水）まで 9日間
- 2 場所 コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク県民体育館・メインアリーナ
- 3 参加地域 アフリカ、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、北アメリカ、オセアニア、開催国（日本）、ホープス（小学生）世界選抜 男・女計16チーム  
※選手64名、コーチ48名、その他大会関係者32名、計144名
- 4 スケジュール  
23日（火）～25日（木） トレーニングキャンプ  
25日（木） 歓迎レセプション（19時～、ホテルニューオータニ鳥取・鶴の間）  
26日（金） 鳥取市内視察（鳥取砂丘、砂の美術館、渡辺美術館）  
27日（土） 団体戦（予選）  
28日（日） 団体戦（決勝）、団体戦表彰式  
29日（月） 個人戦（シングルス、ダブルス、混合ダブルス予選）  
30日（火） 個人戦（シングルス、ダブルス、混合ダブルス予選）  
31日（水） 個人戦（シングルス、ダブルス、混合ダブルス決勝）、個人戦表彰式
- 5 主催 国際卓球連盟（ITTF）、日本卓球協会（主管）※ワールドカデットチャレンジ大会2018実行委員会  
※鳥取県、鳥取市、日本卓球協会、鳥取県卓球連盟、鳥取商工会議所、鳥取市観光コンベンション協会、鳥取県体育協会、鳥取県国際交流財団等が加入。
- 6 主な結果  
（団体戦）男子 1位：日本 2位：アジア 3位：ヨーロッパ  
女子 1位：日本 2位：アジア 3位：北アメリカ  
（個人戦）シングルス 男子 1位：ZENG Beixun（中国） 2位：篠塚大登（日本） 3位：濱田一輝（日本）  
女子 1位：KUAI Man（中国） 2位：菅澤柚花里（日本） 3位：ABRAAMIAN Elizabert（露）  
ダブルス 男子 1位：松島・谷垣ペア（日本） 2位：濱田・篠塚ペア（日本）  
女子 1位：中森・大久保ペア（日本） 2位：ABRAAMIAN・MUSKANTOR ペア（ヨーロッパ）
- 7 その他  
・海外参加者からは、鳥取の競技会場はもとより、食事や輸送体制にも高い評価をいただいた。  
・自然環境が素晴らしいとの声も多く、2020東京オリンピックの事前キャンプ誘致実現に向けて引き続き取り組んでいく。



<歓迎レセプション>



<男子ダブルス決勝>



<混合ダブルス表彰式>

2018ITTF ワールドカデットチャレンジ鳥取大会参加チーム概要

参加チーム概要 参加 38 ヶ国 (選手 64 名、コーチ 48 名、その他大会関係者 32 名)

参加地域		参加国
アフリカ	男	エジプト、チュニジア、コンゴ、アルジェリア
	女	エジプト、チュニジア、モーリシャス、アルジェリア
アジア	男	中国、韓国、チャイニーズタイペイ、イラン
	女	中国、韓国、シンガポール、タイ
ヨーロッパ	男	ポーランド、フランス、ドイツ、ベルギー
	女	ルーマニア、ロシア、スウェーデン、リトアニア
ラテンアメリカ	男	パナマ、ペルー、プエルトリコ、コスタリカ
	女	ブラジル、メキシコ、コロンビア、プエルトリコ
北アメリカ	男	アメリカ、カナダ
	女	アメリカ、カナダ
オセアニア	男	ニュージーランド、オーストラリア、フィジー、ニューカレドニア
	女	ニュージーランド、オーストラリア、フィジー、ニューカレドニア
開催国	男女	日本
ホープス世界選抜	男	ルーマニア、シンガポール、スペイン、イエメン
	女	マレーシア、エジプト、アイルランド、アメリカ

日本代表選手の情報

氏名	Jr. 世界ランキング	年齢	平成 29 年度全日本卓球選手権大会での戦績等
篠塚 大登	22 位	14	14 歳以下男子シングルス ダブルス優勝
濱田 一輝	34 位	15	14 歳以下男子シングルスベスト 4、ダブルス優勝
谷垣 佑真	214 位	15	14 歳以下男子シングルスベスト 8
松島 輝空	57 位	11	小 5 平成 28 年ホープス日本代表鳥取合宿参加者
赤江 夏星	19 位	14	13 歳以下女子シングルスベスト 8
菅澤 柚花里	44 位	15	14 歳以下女子シングルス、ダブルス優勝
大久保 ひかり	31 位	13	13 歳以下女子シングルスベスト 4
中森 帆南	112 位	15	14 歳以下女子シングルス準優勝

(参考) 鳥取県選手団の一覧

	氏名		所属
男子	米村 翔太	よねむら しょうた	八頭町立八頭中学校 2 年
	矢田 幹太郎	やた かんたろう	倉吉市立久米中学校 2 年
	小澤 亮太	こざわ りょうた	北栄町立大栄中学校 2 年
	棚田 倭	たなだ やまと	鳥取市立青谷中学校 2 年
女子	山根 未夢	やまね みゆ	鳥取市立西中学校 2 年
	榎 花恋	えのき かれん	鳥取市立湖東中学校 2 年
	小原 柚葵	おはら ゆずき	鳥取市立東中学校 2 年
	中口 理沙	なかぐち りさ	鳥取市立中ノ郷中学校 2 年
監督	福田 和宏	ふくだ かずひろ	鳥取市立桜ヶ丘中学校

(選考基準) 卓球全日本選手権・カデット部門の県予選会でのベスト 4 メンバー

※米村翔太選手の試合結果 (10 月 29 日 (月) 実施)

出場種目 混合ダブルス (※各大陸チームから男女各 1 名ずつが抽選によりペアを組み試合を行うもの)

対戦内容 米村 翔太 (日本 男子) 対 ガブラン (イエメン 男子)

ダニエッレ (オーストラリア 女子) 対 ベニッタ (カナダ 女子)

試合結果 0-2 で惜敗 (1 セット 7-11、2 セット 9-11)

# 「IFSC-ACC クライミングアジア選手権 倉吉 2018」の開催結果について

平成30年11月29日  
スポーツ課

2020年東京オリンピックに繋がる「スポーツクライミング」のアジア選手権が、11月7日から11日の5日間、倉吉体育文化会館で開催されました。ボルダリング、リードで世界トップクラスの実力を持つ日本代表選手をはじめ、アジア各国の有力選手が出場し、熱戦が繰り広げられました。

鳥取県からも高田知堯（ともあき）・こころ兄妹が日本代表として出場し、知堯選手はリードで銅メダルを獲得、コンバインド（3種複合）の決勝に進出するなど、地元の応援を受けて活躍しました。

子どもから高齢者まで幅広い年代の方々が期間中延べ5千人以上来場され、トップ選手の迫力あるパフォーマンスは多くの観客を魅了し、会場を感動の渦に巻き込みました。

## 1 大会概要

- (1) 期 間 平成30年11月7日（水）～11日（日）（※前日の6日（火）に開会式を実施）
- (2) 会 場 県立倉吉体育文化会館・倉吉スポーツクライミングセンター
- (3) 主 催 国際スポーツクライミング連盟・アジア大陸評議会（IFSC-ACC）、  
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA）
- (4) 共 催 鳥取県、倉吉市
- (5) 主 管 鳥取県山岳・スポーツクライミング協会
- (6) 競技種目 リード、ボルダリング、スピード、コンバインド（複合）  
※登った高さを競う「リード」、制限時間内に完登した本数を競う「ボルダリング」、登った速さを競う「スピード」、そして、この3種目の総合成績を競う「コンバインド（複合）」の4種目。  
※「コンバインド」は東京オリンピックの競技種目。
- (7) 参加地域 アジア14ヶ国・地域から選手107名が参加  
※カンボジア、中国、香港、インドネシア、インド、イラン、日本、カザフスタン、韓国、マカオ、フィリピン、シンガポール、タイ、台湾
- (8) 大会日程

6日（火）	選手受付（リード、ボルダリング）、開会式
7日（水）	予選（男女ボルダリング）
8日（木）	予選（男女リード）、選手受付（スピード）
9日（金）	予選（男女スピード）、決勝（男女ボルダリング）、表彰式（ボルダリング）
10日（土）	決勝（男女スピード、男女リード）、表彰式（スピード、リード）
11日（日）	決勝（男女コンバインド）、表彰式（コンバインド）、閉会式、アフターパーティー

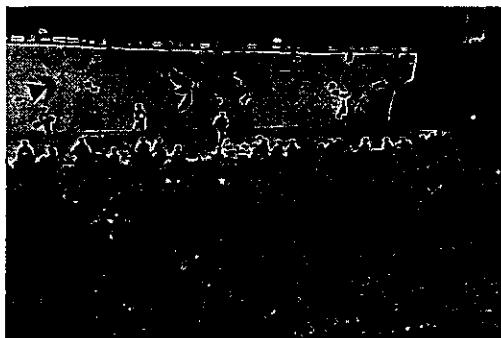
## 2 主な結果等

### (1) 鳥取県出身選手の成績

- ・高田知堯 …リード3位、ボルダリング準決勝敗退（11位）、スピード予選敗退（40位）、コンバインド6位
- ・高田こころ…ボルダリング準決勝敗退（15位）

### (2) その他（競技運営以外）

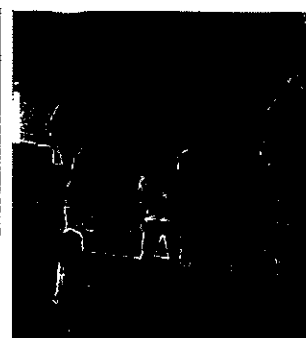
- ・開会式の地元歓迎演出で、鳥取東高校による書道パフォーマンスを実施し、国内外の選手から高評価を得た。
- ・会場内に、地元グルメの飲食コーナーや子ども向けのクライミング体験コーナー（土日のみ）を設置した。
- ・土日には、地元西郷地区による餅つきが行われ、各国の選手も餅つきを体験して喜んでいました。
- ・アフターパーティーでは、地元の食材を使用した料理や様々な趣向を凝らして非常に盛り上がり、「各国の選手間の交流を深めることができた」、「これまで参加した中で最もよかった」など好評だった。
- ・大会運営はもちろん、おもてなし対応など、参加選手や主催者から高い評価をいただいた。



<ボルダリング（屋内仮設）>



<スピード（左）、リード（右）>



<体験コーナー>

IFSC-ACC クライミングアジア選手権 倉吉 2018 の大会成績について

1 各種目の決勝結果

(1) ボルダリング決勝 (11/9) ※決勝進出6名

	男子	女子
1位	檜崎 明智 (ならさき めいち) 日本	伊藤 ふたば (いとう ふたば) 日本
2位	渡部 佳太 (わたべ けいた) 日本	倉 菜々子 (くら ななこ) 日本
3位	YuFei PAN (パン・ユーフェイ) 中国	菊池 咲希 (きくち さき) 日本
4位	藤井 快 (ふじい こころ) 日本	野中 生萌 (のなか みほう) 日本
5位	杉本 礼 (すぎもと れい) 日本	野口 啓代 (のぐち あきよ) 日本
6位	Cheuk-hei HO (チェク・ヘイ・ホー) 香港	Elnaz REKABI (エラン・レカビ) イラン

(2) スピード決勝 (11/10) ※決勝進出16名

	男子	女子
1位	Alfian MUHAMMAD (アルフィアン・ムハンマド) インドネシア/5秒833	Sari AGUSTINA (サリ・アグスティナ) インドネシア/8秒366
2位	Veddriq LEONARDO (レオナルド・ベドリック) インドネシア/5秒836	YiLing SONG (ソン・イリン) 中国/9秒151
3位	Aspar JAELOLO (アスパル・ジャエロロ) インドネシア/5秒878	Aries SUSANTI RAHAYU (エリーズ・スーザンティ・ラハユ) インドネシア/7秒816

※日本の決勝進出者の成績

- ・男子15位 土肥 圭太 (どひ けいた) 8秒708
- ・女子6位 野中 生萌 (のなか みほう) 8秒785 ※当時日本新記録
- ・女子15位 伊藤 ふたば (いとう ふたば) 11秒465

(3) リード決勝 (11/10) ※決勝進出8名

	男子	女子
1位	藤井 快 (ふじい こころ) 日本	Jain KIM (キム・ジャイン) 韓国
2位	西田 秀聖 (にしだ ひでまさ) 日本	野口 啓代 (のぐち あきよ) 日本
3位	高田 知堯 (たかた ともあき) 日本 (鳥取)	小武 芽生 (こたけ めい) 日本
4位	YuFei PAN (パン・ユーフェイ) 中国	平野 夏海 (ひらの なつみ) 日本
5位	緒方 良行 (おがた よしゆき) 日本	栗田 湖有 (くりた みう) 日本
6位	檜崎 明智 (ならさき めいち) 日本	Sol SA (サ・ソル) 韓国
7位	樋口 純裕 (ひぐち まさひろ) 日本	Hsiu-Ju LIN1 (リン・シウ・ジュ) 台湾
8位	Haibin QU (チュー・ハイビン) 中国	野中 生萌 (のなか みほう) 日本 ※棄権

(4) コンバインド決勝 (11/11) ※決勝進出6名 (コンバインドは東京五輪の競技種目)

	男子	女子
1位	檜崎 明智 (ならさき めいち) 日本	野口 啓代 (のぐち あきよ) 日本
2位	杉本 礼 (すぎもと れい) 日本	野中 生萌 (のなか みほう) 日本
3位	YuFei PAN (パン・ユーフェイ) 中国	伊藤 ふたば (いとう ふたば) 日本
4位	藤井 快 (ふじい こころ) 日本	Sol SA (サ・ソル) 韓国
5位	Cheung-chi Shoji CHAN (チューン・チー・ショージ・チャン) 香港	Jain KIM (キム・ジャイン) 韓国
6位	高田 知堯 (たかた ともあき) 日本 (鳥取)	Elnaz REKABI (エラン・レカビ) イラン

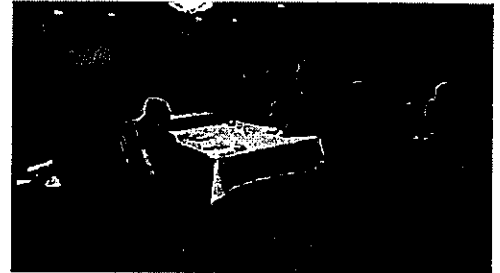
※コンバインド決勝のスピードで、野中生萌選手が8秒57で日本新記録を更新。

2巡目国体等に係る島根・鳥取両県協議及び  
第88回(2033年)国民体育大会開催要望書の提出について

平成30年11月29日  
スポーツ課

今年の9月定例県議会において、全会一致で2巡目国体の招致決議がなされました。これを受け、去る11月13日(火)に、開催趣意書、決議書(写し)、西地区16県の同意書(写し)を添付した国民体育大会開催要望書を、日本スポーツ協会(伊藤雅俊会長)及び文部科学省(鈴木大地スポーツ庁長官)に対して、平井知事が手交しました。

また、これに先立ち、11月12日(月)には2巡目国体等に係る島根・鳥取両県協議を行い、両県が互いに協力しながら準備を進めていくことを確認しました。



【2巡目国体等に係る島根・鳥取両県協議】

- 1 日時 11月12日(月) 午前11時40分から55分まで
- 2 場所 津山鶴山ホテル
- 3 出席 鳥取県：平井知事、鳥取県体協 後藤専務理事  
島根県：溝口知事、島根県体協 安井専務理事
- 4 内容 課題認識の共有、今後の方向性についての確認

〔協力開催の基本方針について具体の検討を進めるため、国体(国民スポーツ大会)及び全国障害者スポーツ大会に係る連絡調整会議を立ち上げることを確認。〕

【第88回(2033年)国民体育大会開催要望書の提出】

1 日時

(1) 公益財団法人日本スポーツ協会

- ・日時 平成30年11月13日(火) 午前11時から午前11時15分
- ・場所 公益財団法人日本スポーツ協会 会長室
- ・内容 第88回(2033年)国民体育大会開催要望書の提出  
(伊藤雅俊会長へ手交)

(2) 文部科学省(スポーツ庁)

- ・日時 平成30年11月13日(火) 午後2時30分から午後2時45分
- ・場所 文部科学省 スポーツ庁長官室
- ・内容 第88回(2033年)国民体育大会開催要望書の提出  
(鈴木大地スポーツ庁長官へ手交)

2 本県要望者

- (1) 鳥取県 平井 伸治 知事
- (2) 鳥取県教育委員会 山本 仁志 教育長
- (3) (公財)鳥取県体育協会 中永 廣樹 会長



【スケジュール】

<これまでの動き>

2018(平成30)年

- 9月18日 県体育協会・県障がい者スポーツ協会がそれぞれ国体招致要望・全国障害者スポーツ大会招致要望を決議
- 10月5日 県体育協会・県障がい者スポーツ協会が、議長・知事・教育長へ国体及び全国障害者スポーツ大会招致要望書を提出
- 10月15日 2033年の2巡目国体等招致を県議会全会一致で決議
- 11月12日 島根・鳥取両県協議 協力しながら準備を進めることを確認
- 11月13日 日本スポーツ協会及び文部科学省に国体開催要望書を提出

<今後の想定スケジュール>

- 2019年 国体(国民スポーツ大会)・全国障害者スポーツ大会連絡調整会議の立ち上げ  
島根県と協力開催のあり方について協議(会場地、人的体制、経費負担等の考え方)
- ～以降～ 鳥取国スポの内々定
- 2028年 国スポ開催申請書の提出(5年前)、鳥取国スポ等開催の内定
- 2029年 島根国スポ等開催
- 2030年 鳥取国スポの開催決定(3年前)、国スポ等実行委員会設立
- 2033年 鳥取国スポ等開催



平成45年(2033年)  
第88回国民体育大会  
開催要望書

文部科学大臣 柴山 昌彦 様

平成45年の第88回国民体育大会本大会(スポーツ基本法の一部を改正する法律(平成30年法律第56号)の施行後の国民スポーツ大会)を鳥取県において開催いたしたく、別添開催趣意書に鳥取県議会の決議書及び西地区各県体育協会の同意書の写しを添えて、ここに要望します。

平成30年11月13日

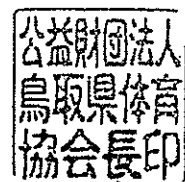
鳥 取 県 知 事 平井 伸治



鳥 取 県 教 育 委 員 会 教 育 長 山本 仁志



公 益 財 団 法 人 鳥 取 県 体 育 協 会 会 長 中永 廣樹



## 開催趣意書

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広くスポーツを普及し、健康の増進と体力の向上を図るなど、スポーツ振興と文化の発展及び活力のある地域づくりに寄与してきました。

鳥取県では、昭和60年に「明日へ向かってはばたこう」のスローガンのもと、第40回国民体育大会「わかとり国体」を開催し、質素な中にも温かさのある大会の実現を目指し、県民の総力をあげて取り組みました。わかとり国体を成功に導くとともに、天皇杯を勝ち取ったことは、全国最少人口の県であっても「やればできる」という自信と誇りを県民にもたらし、本県のスポーツ振興の大きな礎となりました。

現在、本県は少子高齢化や人口減少など厳しい状況が進んでいますが、人と人が繋がり互いに支え合う、本県ならではの強みを活かして持続的で活力のある地域づくりを進めています。国民体育大会を山陰両県協力しつつ本県で開催することは、スポーツの振興はもとより、スポーツを通じて次代を担う子どもたちに夢や感動を与えるとともに、健康づくり、地域経済の活性化、観光の振興など、本県はもとより日本全国の明るく豊かな国民生活と地域社会の醸成に大きく貢献するものであります。

国民体育大会の招致は、スポーツ関係者をはじめ、県民あがての強い願いであることを御賢察いただき、2033年の第88回国民体育大会を本県で開催できますよう格別の御高配をお願い申し上げます。国体開催が全国を2巡する締めくくりにふさわしい大会となるよう全力で取り組むことをお誓い申し上げます。